

■科目基本情報

科目名	デザイン理論	科目コード	J308	科目区分	専門
学科・コース	情報システム工学科 メディアデザインコース	学 年	2 年	学 期	通年
方 式	演習	必 ・ 選	必修	単 位	2
実務経験のある教員科目	<input type="checkbox"/> 対象・ <input checked="" type="checkbox"/> 対象外			総 時 数	60

■授業詳細情報

授 業 概 要	【デジタルデッサン】では、2D および 3D のオブジェクト制作に必要な構図のとり方や線画の方法等を学び総合的なデッサン力を身につける。また【色彩】では、デザイン分野の基本概念となる色に関する知識を学び、ファッションやインテリア、プロダクト、ビジュアルなど幅広いシーンで活用することが可能な配色の基本を学習する。
達 成 目 標	デッサンの基礎知識を踏まえた構図のとり方や線画の方法を理解し、2D イラストレーションや 3DCG モデリング等の分野でイメージしたものを形にすることができる。また、色彩についての知識にも精通し、流行やシチュエーションに応じた適切な配色を行うことができる。
使 用 教 材	教科書： 文部科学省後援色彩検定公式テキスト 3 級編（色彩検定協会）、文部科学省後援色彩検定過去問題集 2・3 級（色彩検定協会） 副教材： 参考書： デジタルデッサン-CG の技法を使ってデッサンに挑戦-（CG-ARTS 協会）
授 業 外 学 習	文部科学省後援色彩検定対応

授業計画

項 目	内 容	時数
【デジタルデッサン】		
1 デッサンの基礎		
1.1 デッサンとはどんなものか	デッサンの意味/デッサン力を身につける	2
1.2 デッサンの用具	木炭・鉛筆/デッサンのための紙/その他の用具	2
1.3 形の構造をとらえる	形の本質を見る/表面に惑わされない	2
1.4 構図のとり方	フレームを決める/構図のバランスを再確認/構図の基準点を決める	2
1.5 形を正確に描く	遠近法の理解/形を確かめる/形態を直方体でとらえる/デッサンのポイント「楕円」を描いてみる	2
1.6 線の表現	輪郭線の役割/「点と線」で立体を表現/輪郭線に頼らない/クロスハッチング	2
1.7 立体感のポイント	光源の方向/質感の表現/立体を面でとらえる/空気遠近法/空間を描く	2
1.8 豊かな階調表現	階調表現のポイント/デッサンを完成させる	2
2 デジタルデッサンの基礎		
2.1 デジタル画像の基本	ビットマップ形式とドロー形式/画像サイズ・解像度・色数	3
2.2 ペイント系グラフィックスソフトで描く	ペイントソフトの定番 AdobePhotoshop/線で描く/描画ツール/ブラシのタッチを変えてみる/リングを描く（構図を決める・リングと影を別レイヤーに分ける・ブラシを選ぶ・描き込む・影を整え、ハイライトを入れる・表面のテクスチャを作る・より、りんごらしく）	4
2.3 ドロー系グラフィックスソフトで描く	ドローソフトの定番 AdobeIllustrator/ベジェ曲線を描く/基本形態を描く（球体を描く・円柱を描く・円錐を描く・立方体を描く）/基本形態を使って空間を構成する（グリッド空間を作る・グリッド空間に立体を配置する）	4
2.4 3DCG で描く	3DCG の特徴/3DCG とデッサン/コンクリートブロックを描く（面形状を作成する・テクスチャを作成する・立体形状をモデリングする）	3
【色彩】		
1 色のはたらき		2
2 光と色		
2.1 色はなぜ見えるのか？	光とは何だろう/光の性質と色	1

2.2	眼のしくみ	色を見る目のしくみ／網膜における光の処理	1
2.3	照明と色の見え方		1
2.4	混色	混色とは何か？／加法混色／減法混色／混色を応用した身近な例／混色のまとめ	1
3	色の表示		
3.1	色の分類と三属性	色の分類／色の三属性／「純色」「清色」「中間色」／等色相面／色立体／表色系	2
3.2	PCCS	色相／明度／彩度／三属性による色の表示／等色相面／色立体／トーン／トーンのイメージ／色相とトーンによる色の表示方法	2
3.3	言葉による色表示	色名	1
4	色彩心理		
4.1	色の心理的效果	暖色と寒色／進出色と後退色／膨張色と収縮色／軟らかい色と硬い色／軽い色と重い色／興奮する色と鎮静する色／派手な色と地味な色／色の連想と象徴	2
4.2	色の視覚効果	負の残像／色対比／同化効果／色陰現象／面積効果／視覚効果のまとめと演習	2
4.3	色の知覚的效果		2
5	色彩調和		
5.1	配色の基本的な考え方	なぜ配色の学習が必要なのか？／色相をてがかりにして配色を考える	1
5.2	色相から配色を考える	色相に共通性がある配色／色相にやや違いがある配色／色相に対称性がる配色	1
5.3	トーンから配色を考える	トーンを手がかりにした配色／トーン共通の配色／トーン対象の配色	1
5.4	配色の基本的な技法	アクセントカラー／セパレーション／グラデーション	1
6	色彩効果		2
7	色彩と構成		2
8	色彩と生活	生活環境と色彩／生活環境とカラーコーディネーション	1
9	ファッション		
9.1	ファッションとは	服飾ファッションの視点／ファッションビジネスの世界	1
9.2	ファッションと色彩	ファッションコーディネートにおける色彩／基本的なカラーコーディネート／トップとボトムの配色効果／ファッションタイプとカラーコーディネート／色相を主体としたカラーコーディネート／トーンを主体としたカラーコーディネート／色相とトーンを組み合わせたカラーコーディネート	1
10	インテリア		
10.1	インテリアと色彩	インテリアとは／住宅のインテリアの色彩	1
1.1	インテリアのカラーコーディネーション	インテリアのカラーコーディネーション／インテリアの配色／インテリアにおける色の心理的效果／インテリアにおける色彩検討	1
評価方法	①期末試験および課題提出（又は色彩検定への合格による評価）：70%、②出席率：30% ①～②の合計得点を評価（優、良、可、不可）に置き換える		
関連科目	1年次：CG基礎、Webデザイン基礎 2年次：CG応用、Webデザイン応用、メディアデザイン、DTPデザイン、		
備考			